

G3ファルコンS

<最終見解>

本命はサトミノキラリ。

良馬場の当レースでは母父ディーパインパクトが2頭出走していずれも優勝。
どちらも父は欧州型でした。

前走で芝1600m以上の重賞を使っている馬も当レースに好相性。

G3フラワーカップ

<最終見解>

本命はカニキュル。

父は当レースに好相性の欧州型のエピファネイア。

母父ゼンノロブロイも当レース勝ち馬を出し、連対馬も複数出しています。

前走2000m以上を経験しているのも当レースでは有利。